

代 表 者

研 修 報 告 書

令和元年11月29日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

山上 文恵

次のとおり研修会に参加したので報告します。

1. 視察期日

令和元年11月15日（金）～ 16日（土）

2. 研修項目

地域福祉政策の立案にむけて ～地方議員がいま取り組むべき課題 **基礎編**～
地域福祉政策の立案にむけて ～地方議員がいま取り組むべき課題 **実践編**～

■研修項目

地域福祉政策 **基礎編**

これからの福祉政策の方向

これからの地域づくり戦略 ～政策立案の考え方とその手法～

・研修期日

令和元年11月15日（金） 14：00～16：30

・研修目的

地域福祉政策において、現状の支援体制とこれからの地域福祉の施策の方向性を学ぶ

呉市において、これからの福祉施策の方向を考える基礎を学ぶ

・研修内容

【講師；公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 瀬戸恒彦理事長】

○これからの福祉政策を考える視点は、人口がどうなるかが問題。

全国的にも人口減少が起こる中、各自治体での違いが出てくる。

2025年に75歳以上は18%になる。2040年には65歳以上は全人口の約35%となる。

あなたの自治体は？65歳以上38.5%です。

保険料負担者である40歳以上の人口は、



2021 年をピークに減少して行く。

○要介護認定者数の増加。

保険料も増加。2020 年度全国平均 5,869 円
 2025 年度 約 7,200 円
 2040 年度 約 9,200 円に。

○社会保障制度

日本の国家予算の割合は、
 年金：医療：福祉の割合が 5：3：2 になって
 きている。
 イギリスやスウェーデンなどの社会保障の
 進んだ国は、年金：医療：福祉の割合が
 均等になっている。

○2040 年を展望して誰もがより長く元気に活躍
 できる社会の実現をめざし

- ①多様な就労・社会参加の環境整備
- ②健康寿命の延伸
- ③医療・福祉サービスの改革による生産性の向上
- ④給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保
 の取り組みを進める必要がある。

○暮らしと生きがいをともに創る「地域共生社会」の実現

地域実践例：富山型ディサービス（富山県）

介護保険の指定通所介護事業所を母体として、障害者総合支援の就労継続
 支援 B 型の事業を実施。

高齢者だけでなく、障害者、子どもなど多様な利用者が共に暮らし、支え
 合うことでお互いの暮らしが豊かになる。

子どもと関わることで、高齢者のリハビリや障害者の自立・自己実現に良
 い効果を生む。



国を動かして、先進的的地方を増やしていく。

○健康寿命の延伸

虚弱予防で元気な高齢者の健康増進を図る。
 在宅ケアで虚弱な高齢者の生活支援をする。
 機能的健康度（自立度）をふまえて予防戦略を図る。

○健康長寿のための 3 つの柱

- ①栄養（食・口腔機能：タンパク質を多く取りバランスの良い食事をする・歯科口腔の定
 期的な管理を）
- ②身体活動（運動と社会活動を：たっぷり歩き、ちょっと頑張って筋トレをしましょう）
- ③社会参加（就労、余暇活動、ボランティア：お友達と一緒にご飯を食べたり、さまざま
 な社会参加をしましょう）

*社会参加への専門家が必要！ だいじです！

○高齢者における「社会性」を維持する意義は、活動量、精神・心理状態、口腔機能、
 食・栄養状態、身体機能など、多岐にわたる健康分野にも大きく関わる。

社会保障人口動態研究 730 推計人口		合志市		倉敷市		西	
2015年 総人口 (万人)	2040年 総人口 (万人)	58,370 (113.3)	66,154 (113.3)	477,118 (93.0)	442,733 (93.0)	487,851 (93.0)	487,851 (93.0)
0才~14才 人口		10,565 (18.1%)	12,054 (18.2%)	66,109 (13.9%)	53,729 (12.1%)	67,664 (13.9%)	67,664 (13.9%)
15才~64才 人口		34,598 (59.3%)	36,633 (55.4%)	282,873 (59.3%)	238,852 (53.8%)	305,609 (62.6%)	305,609 (62.6%)
65才以上 人口		13,207 (22.6%)	17,467 (26.4%)	128,086 (26.8%)	151,152 (34.1%)	114,577 (23.5%)	114,577 (23.5%)
呉市 鶴岡市 八代市 立							
228,552 人	161,648 (70.7%)	129,632 人	89,174 (68.8%)	127,972 人	97,799 (76.7%)	176,395 人	176,395 人
25,977 (11.4%)	16,370 (10.1%)	15,378 (11.9%)	8,276 (9.3%)	15,805 (12.4%)	12,297 (12.6%)	20,120 (11.4%)	20,120 (11.4%)
125,763 (55.0%)	83,052 (51.4%)	72,777 (56.1%)	42,478 (47.6%)	71,069 (55.2%)	48,772 (49.9%)	111,708 (63.4%)	111,708 (63.4%)
76,832 (33.6%)	62,226 (38.5%)	41,497 (32.0%)	38,420 (43.1%)	40,598 (31.8%)	36,735 (37.4%)	44,467 (25.2%)	44,467 (25.2%)

ドミノ倒しにならないように、気を付けましょう！

予防プログラムにおいて、

例 「指輪っかテスト」ふくらはぎを囲んだ時どうなりますか？

- ・ 囲めない
- ・ ちょうど囲める
- ・ 隙間ができる

- これからの地域の課題 …… 高齢者が地域を変える
高齢者が地域に出て行って体操等「通いの場」で元気になる



集まることで地域がつながる → つながる地域がまちを変える 活性化

- 日々の生活の支援 …… 地域の支え合い「互助」

人と人との支援をしていかないと、

地域では暮らしていけない。

土台の部分は、土と考えると

光や水を与えないと支え合いは

育たない。

育てるのは、地域住民です。

今、土台がくずれてきている。

地域の課題を地域で議論し、予算を

付けて、施策として取り組む必要がある。

【むすび】

- 地域づくりの基盤づくり

① 「向く」人材の配置

- ・ 地域づくりの主導は、市町自らで行なう。(外部の法人への委託ではなく)
- ・ 地域づくりに「向く人」を「長く」担当に置く。(長い目で成果の評価を行なう)
- ・ 人間関係づくりをいやがらず、行動力のある人、人の話をよく聞く人が向く。
- ・ 役所の担当部署だけで完結せず、まちづくり部門や商工部門なども広く関わりを持たせる。

② 地域の自主性・自律性

- ・ 地域のごことは、地域で解決するという地域の自主性・自律性の認識を持ってもらう。
- ・ 各地域組織同志、信頼関係・協力関係を築いておく。
- ・ 各地域組織とは別に、地域づくりの地区住民組織を創設することも一考に値する。
- ・ 「生活支援コーディネーター」を各中学校区に一人配置できる事業も活用する

③ 医療・介護の専門職や専門職団体との協力関係

- ・ 地域の医療・介護の専門職や専門職団体と良好な関係を築く。
- ・ 地域課題全般について一緒に考え、答えを見つけていくようにする。

- 活用できる施策

① 介護保険の地域支援事業（総合事業）

地域の活動を支援し、子どもや障害者も広く参加できる事業。

② 介護保険の地域支援事業（生活支援体制整備事業）

地域を「つなぐ」人材等を確保できる。

③ ボランティアポイント

ポイントを渡して、ボランティア等を確保できる。



④医療保険の保健事業

医療保険財政を活用し、「通いの場」等において専門職等を確保できる。

例えば、「通いの場」として講演整備を行なう場合、国交省の「都市公園ストック再編事業」を活用できる。

○政策立案の考え方とその手法

ステップ1

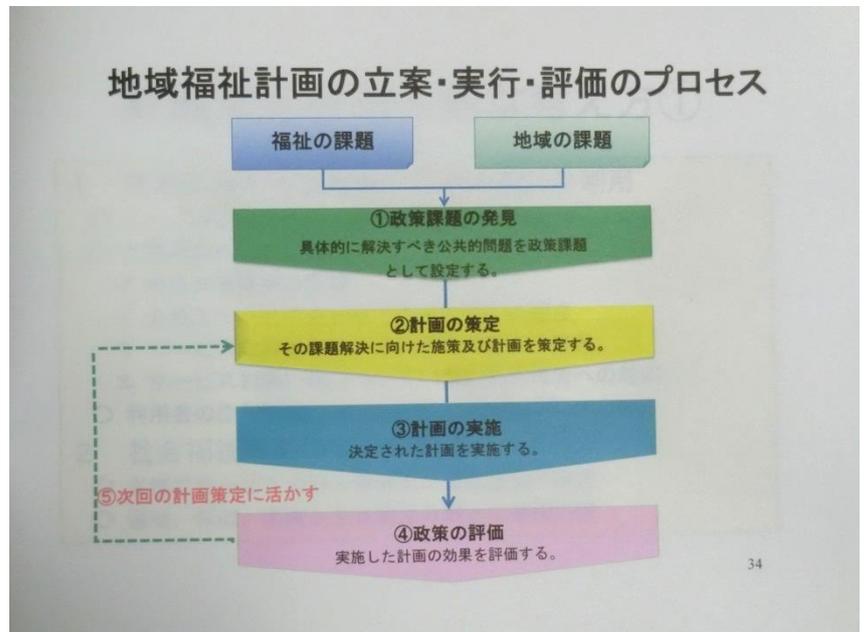
地域の課題を把握する

ステップ2

課題解決に向けた
地域福祉計画を策定する

ステップ3

決定された計画を
実施する



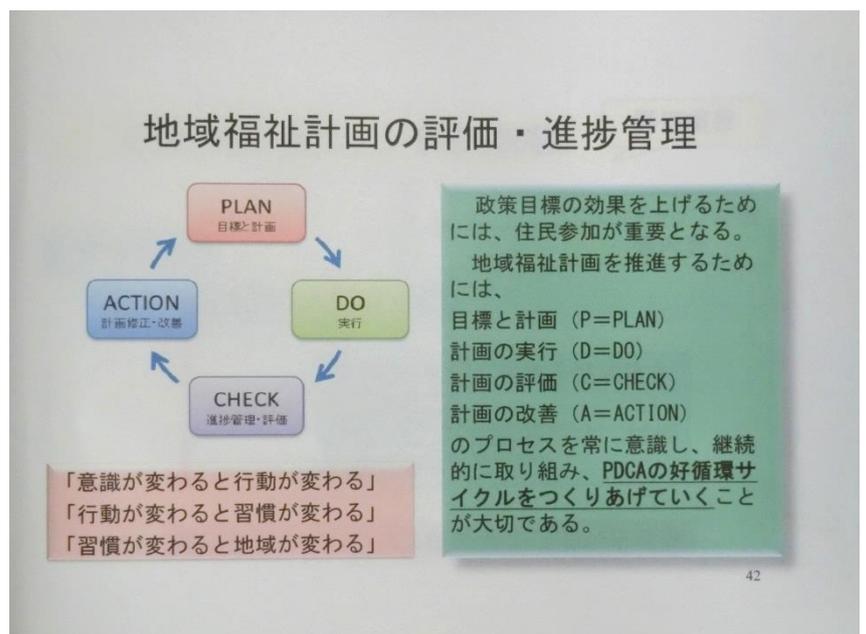
○PDCAをまわす

評価とは、目標に対する
達成度を測定すること
測定の仕方（判断基準）は、
票か機関によってさまざま

評価を活かすためには関係
者の理解が不可欠

「日々に新たに」

PDCAに必要な考えです



■研修項目

地域福祉政策 **実践編**

実践事例から学ぶ

実践するために

・研修期日

令和元年11月16日（土）10：00～12：30

・研修目的

選ばれた議員として、住民が幸せになるための政策を考えましょう！

地域包括システムの着実な推進についてを学ぶ
実践事例から学ぶ

・研修内容

【講師；公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 瀬戸恒彦理事長】

○地域の課題は何ですか

全体を見る目 …… 鳥になって地域を見る
真実を見る目 …… 関心が無いと課題を見つけることが出来ない
本当の課題かどうか分からない

時代の流れを見る目 ……

その結果、地域の人口減少、空き家が多くなっている、高齢者が多い、若い担い手が少ない、災害時の隣近所の助け合い、高齢者をどうやって助けるのか等々、課題が挙げられる

○解決の政策は、担い手の発掘（人材育成・リーダー育成）

地域づくりが出来る人をどう育てるのか

リーダーを育てるために、養成塾を作ってください

アイデアを出して、どうやって出来るかを考える

地域を変える熱意！も必要

さまざまな角度から地域で解決する仕組みを考え、行動・実践して下さい

○事業 …… 社会に影響がなければ、無駄な事業と思うべき

実践しなければ、社会は変わらない

やっている事が見える化して下さい

○地域包括ケアシステム

地域の課題の把握と社会資源の発掘

日常生活圏域のニーズ調査等（地域の実態把握）

地域ケア会議の実施（地域ニーズや社会資源の把握）

医療・介護情報の「見える化」（他市町との比較検討） を分析

↓

高齢者のニーズ

住民・地域の課題

社会資源の課題 …… 介護・医療・住まい・予防・生活支援

支援者の課題 …… 専門職の数・資質、連携・ネットワーク の協議

社会資源・地域リーダー・住民互助の発掘

↓

地域の関係者による対応策の検討

介護保険事業計画の策定等 …… 都道府県との連携（医療・居住等）

関連計画との調整

住民参画

（住民会議・セミナー・パブリックコメント等）

関連施策との調整

（障害、児童、難病施策等の調整）

↓

対応策の決定・実行（PDC Aサイクル）

介護サービス（地域ニーズに応じた在宅サービスや施設のバランスのとれた基盤整備）

医療・介護連携（在宅医療・介護の連携）

住まい（サービス付き高齢者向け住宅等の整備や高齢者等の居住確保）

生活支援・介護予防（民間活力やボランティア等による実施、社会参加の促進による
介護予防、地域の実情に応じた事業実施）

人材育成（専門職の資質向上、介護職の処遇改善）

○地域包括支援センターの機能強化

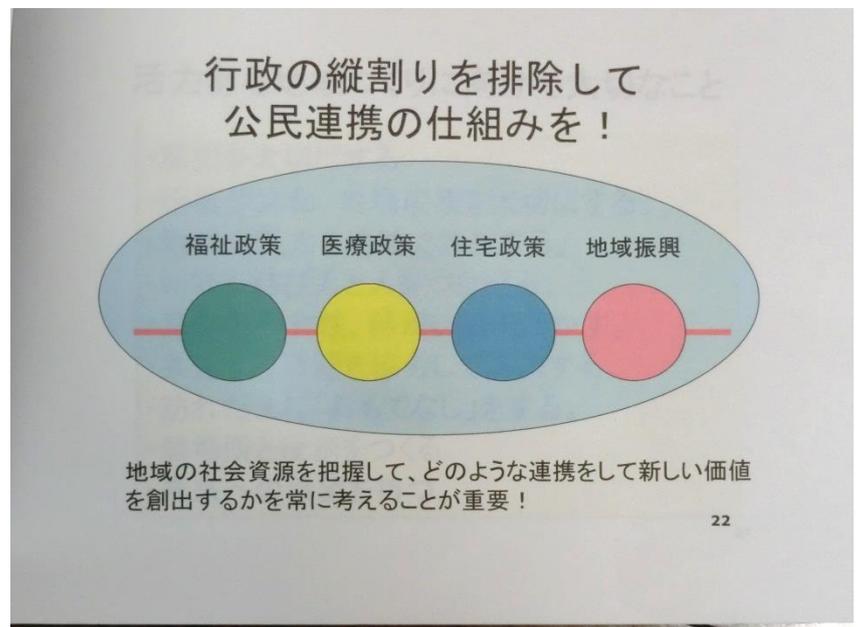
地域包括支援の中核的機関として期待をされている

相談業務を行っている

どれだけ、地域に役立っているのか検証を

○活力ある地域づくりに向けて大切なこと

- ・歴史を大切にす
- ・伝統や文化、地場産業を大切にす
- ・地域の魅力を地域で共有する
- ・地域を結び、人と人をつなげる
- ・高齢者や女性、障害者を活かす
- ・共通する課題を協力して解決する
- ・訪れた人に「おもてなし」をする
- ・居場所と役割をつくる
- ・未来への希望を持つ



【実践事例から】

○高知県高知市……運動・口腔機能向上のための住民主体の体操の取り組み

「いきいき百歳体操」により、要介護の方々 重度ほど少なくなっている
全サービス費の費用が抑えられている
効果をあげられている

施策として仕組みづくりが必要

○熊本県長州町……介護予防拠点活動の充実

介護費用額と要介護認定散るの推移をグラフ化されている

○奈良県生駒市……住民主体の通いの場の充実

継続するために何が必要で、どういう要素が必要なのかを考えられた
意識の共有・動機付け

楽しい、もっと元気になる、元気になって何をするのか問かけ、仲間ができる

○茨城県利根市 …… シルバーリハビリ体操指導士の体操普及活動

ボランティア組織「利根町リハビリ体操指導士の会」を平成 16 年に設置

地域住民に体操普及活動を日々の実践化している

- 東京都葛飾区 …… 公園に設置した健康遊具をしようした「うんどう教室」
専門の指導員により運動遊具を使用して、楽しみながら「つまづき」「ふらつき」を
予防するために運動を行なっている。
- 東京都荒川区 …… 数々のオリジナル体操の開発などによる取り組み
平成14年度に「荒川ころばん体操」、平成16年度ゴム製バンドを使った筋力アップ
の「せらばん体操」平成28年度ストレッチ、筋トレ、バランス、エアロビクスの要
素が入った「あらみん体操」を開発。
- 東京都西東京市 …… 職能団体を巻き込んだ取り組み
早期に自分の状態を自覚し、予防することで元気な状態を長く維持できるようにする
プログラムをフレイルチェックといいます。
測定だけでは、効果が分かりませんので、チェック後の住民とのかかわりを持たせて
いかれている。
また、住民とのかかわりは、介護予防事業を地域の元気な高齢者から養成されたフレ
イルサポーターが運営を行ない、「市民による市民のための事業」を実施している。
- 山梨県中央市の老人クラブ …… ちょびっとお助け隊
草取り、ごみ出し、犬の散歩等、高齢者同士が協力し合う活動の実施。
会員のみならず、会員外の方も気兼ねなく依頼できる料金体系にして、交流も広げら
れている
- 兵庫県養父市の老人クラブ …… いどばた喫茶
年間を通じた集いの活動として実施。地区の人たちとの交流の場ともなっている。
…… 呉市三条地区では「ふれあい広場」として65歳以上の方々
20名がボランティアで飲み物の提供をし、お花見会・夏祭
り・クリスマス会のイベントを行ない、小学生との交流（
作品展と感謝の集い）、中学生との交流（総合学習の一環で
ふれあい広場で紙芝居とお菓子を作っておもてなしをされて
います）も行なわれています。男性の皆さんも多く来られて
います。もちろん、ボランティアの中にも男性が4分の1い
らっしゃいます。
空き家を借りてオープンさせています。
家賃は、三条地区まちづくり委員会から出してもらっていま
す。
- 愛知県豊明市の協同組合 …… コープあいち等
これまで実践してきた支え合い活動を住民に見える形にし（購入品の無料配送・くら
したすけあいの会、地産地消の食堂、空き家を改修した地域の集いの場）、住民の輪を
拡げることに取り組んでいる。
- 神奈川県横浜市旭区若葉台団地の自治会
団地造成において、里山の一部が講演として残され、歩行者専用道路がきめ細かく整
備され、ジョギングやウォーキングなどがしやすい環境が整っている。10の自治会が
桜まつり、夏祭り、大運動会などの行事をするなど活発な自治会活動が行われている。
少子化が進み廃校となった中学校の教室を利用して、地域住民で構成されたNPO法
人が、スポーツ活動・文化活動を実施し、地域のコミュニケーション・世代間交流の

機会となる提供している。

空き店舗を活用して、住民主体の支え合いサービス（訪問・通所）を実施。

○大分県杵築市 …… 住民の自治協議会を通じた分野を超えた地域づくり

65歳以上の人口が35.8%、75歳以上の人口が20.0%

高齢者の作業活動を通じた介護予防を進める観点から、「生涯生産者のまちづくり」を合い言葉にさまざまな政策を展開

○山口県萩市 …… SC協議体（地域ささえあい協議会）を中心とした住民主体の地域づくり

65歳以上の人口が41.4%、75歳以上の人口が22.3%

地域を対象としたアンケートにより、地域の実態把握を行なった結果、介護予防、支え合いの仕組み、移動支援の仕組みが地域共通の課題として見えてきた。

地区ごとに要支援者等を対象にしたサロン活動（通所型サービス）、家事援助、移動支援等（訪問型サービス）を実施。

○豊明市 …… 地域ケア会議（多職種合同ケアカンファレンス）

65歳以上の人口が25.4%、

本人にとっての自立は？

自立を阻害する要因は？ → サービスは現状とありたい姿のギャップを本当に解決できるのか

多職種によるカンファレンスを行なうことで、医療介護連携、総合事業、認知症地域支援、生活支援体制整備事業等の市町村が実施する事業が繋がる。

*実践している市町村多くなっている …… 参加者を集められなくなっている
これからどうやって作っていくのが問題である

○長崎県佐々町 …… 3職種の地区担当制等による地域のニーズ把握

65歳以上の人口が26.8%、75歳以上の人口が12.6%

保険師・社会福祉士・主任介護支援専門員が町内会長や民生委員等とつながり、地域との結びつけを強化していく。

町内会長、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会等から構成される「高齢者見守りネットワーク情報交換会」を組織し、個人への支援を地域づくりに繋げるための場とする。

「高齢者見守りネットワーク情報交換会」からの情報等をもとに、積極的な介護予防が必要な高齢者を把握し、地域包括支援センターが訪問を行なっている。

現在の情報交換会は、高齢者に限らず、課題を抱え見守りや支援が必要な世帯の情報共有の場となり、各種相談支援機関も参加し必要に応じた支援体制につなげている。

○都道府県による市町村支援

☆熊本県 …… きめ細やかな市町村支援

国のモデル事業による支援から、県独自の事業を実施

本庁（全体調整・分析等）と、広域本部（地域の実情を踏まえた細やかな支援）がいったいとなり、地域リハの広域支援センターなどと緊密に連携し、市町村支援を実施

広域支援センターと地域密着リハセンターが連携して、介護予防事業や地域ケア会議等に、リハ専門職を派遣

☆埼玉県 …… アドバイザー派遣によるオーダーメイド・伴奏型支援の実施

埼玉県は、市町村が63あり、全国3番目の多さ

都市部からの農村部まで、地理的・文化的・人口動態的に様々な特徴ある市町村が存在

様々なニーズに対応するため、県社会福祉協議会、さわやか福祉財団等の専門職と協議して市町村支援を行っている

モデル事業で得たノウハウを生かし、市町村の状況に合わせたチーム編成による「総合支援チーム」を全市町村に派遣し支援

地域の実情に応じて伴奏しながら事業推進をサポート（専門職派遣による伴奏型支援）

同時に人材育成をすると良い

☆高知県 …… 首長等を対象としたトップセミナー

県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることが出来る県をめざし「日本一の健康長寿構想」を平成22年2月策定

福祉総合事業は、10年くらい時間がかかる事をトップに理解をしてもらう為に首長の考え方を変えるセミナーを開催

福祉事業は、外部委託しても丸投げにせず、行政が関わる事が重要であること等を伝えられている

県知事の強いリーダーシップが発揮される必要がある

○神奈川での実践

平成8年3月 神奈川の21世紀福祉ビジョンづくり

平成9年3月 「かながわシルバーサービス」設立

（公益社団法人かながわ福祉サービス振興会）

基本理念：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会は、全社員が地域社会に貢献するために活動し、行動や民間企業、NPOや関係団体から信頼され、共感される経営を目指します。

基本行動指針：①法令遵守 ②社会貢献 ③人権尊重
④品質管理 ⑤情報管理 ⑥安全衛生
⑦環境保全 ⑧交通安全

主な次行：①情報事業（介護；指定情報公表センター）

→介護・障害・子育て支援Webサイトの運営
自治体や事業者・利用者双方向で情報発信が出来るようにする

介護サービスの内容を分かりやすく紹介

介護現場のメッセージを掲載

地図から検索できるようにする

②評価事業

→質を高め、業務改善につながる評価の実施

評価データブック・業務改善ハンドブック作成

③教育事業

→人材育成のための研修等の実施

毎年約 100 講座 3,000 名前後の育成を実施

④調査事業

→要介護認定及び公表制度に基づく調査の実施

⑤介護ロボット普及推進事業

→先端技術を活用して介護現場の課題を解決

介護者支援型ロボット、自立支援型ロボット、
コミュニケーション・セキュリティ・メンタルケア
型ロボット普及推進事業の実施

⑥高齢者の社会参加活動促進

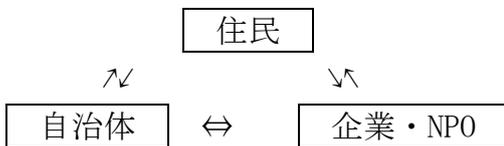
→介護支援ボランティアの推進

☆地域包括ケアシステム

医療 生活支援 介護・予防 住まい

これら 4 部門の情報を一つにまとめて共通化していく

☆公民連携の中心には、地方議員の皆さんの存在が必要です



☆地方議員の役割は、

- ・政策を企画立案する
- ・政策を実行する場合は、地域の資源を有効に活用する
- ・必要に応じて推進組織（NPO 等）を設立する
- ・政策を評価する
- ・評価の視点は、住民の福祉の向上に寄与しているか、地域が豊かになっているか、常に住民の目線で評価する

【呉市での展開の可能性】

- ・呉市社会福祉協議会からの発信の各地区でのサロン開催で高齢者のみなさんの介護予防に頑張っていると思います。
- ・三条地区では、「ふれあい広場」を開催し、ボランティアスタッフも来られる皆さんの高齢者で元気いっぱいの地域づくりが行われています。
- ・課題は、これからを担ってくれる人材が少ないこと。
今から養成をしておかなくてはいけないのですが、行政が養成講座を開いて行く必要があるのではと思います。
- ・市長がやる気を持って福祉にあたることも、学んでいて思いました。
- ・各議員の役割として、住民誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることが出来る街のするために、尽力していかなければと思いました。